

みな
かわ
すえ
こ

皆川末子 布絵の世界展

日本の古布で描く布絵（NUNOÉ）。懐かしくて新しい。貴方もきつと感動します。



明日からの空想 (2006年) 190×150cm メッセージシリーズより

今

数々のメディアで注目されている、水戸市在住の皆川末子さんの布絵。

本展では、38年に及ぶ創作活動の集大成として、過去最多の約70点を厳選して展示します。

日本の古布に新しい命を吹き込み作品に仕上げっていくオリジナル・アートの世界をご堪能ください。

2021年 10月9日[土]～12月19日[日]

【開館時間】10:00～18:00(入館は17:30まで) 【休館日】月曜日

【入館料】一般500円／団体(10名様以上)450円 高校生以下無料

※本展会期中発行の板谷波山記念館入館券の半券をご提示いただくと、390円でご覧いただけます(半券1枚につき1名様1回限り)。

※本展入館券で[秋冬季所蔵品展]もご覧いただけます。

※障がい者手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名様は無料です。

※毎月第3日曜日「家庭の日」(10/17・11/21・12/19)は高校生以下のお子様連れのご家族は無料です。

※新型コロナウイルスの影響により、開館状況が変わる可能性があります。お出かけ前に、最新情報をお確かめください。

主催：しもだて美術館／筑西市／筑西市教育委員会 後援：茨城県

企画協力：プロジェクト布絵／有限会社ヘッドルーム 協力：協同組合日専連しもだて

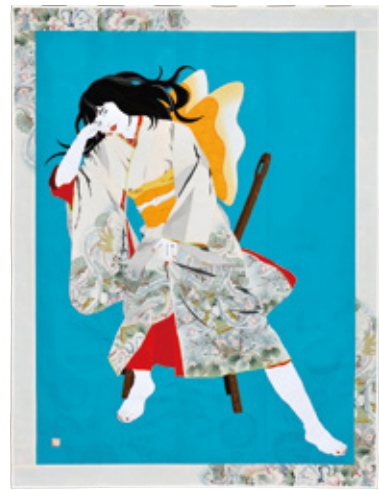
【同時開催】秋冬季所蔵品展



しもだて美術館
Shimodate Museum of Art



金太郎と十二支 (1993年)
282×540cm おとき話シリーズより



白の想ひ (2014年)
178×136cm メッセージシリーズより



じっと見る (1995年)
165×205cm 藍色台紙シリーズより



赤い絨毯 (2003年)
170×190cm 無彩色シリーズより



扇の風にのって (2008年)
170×132cm 日本舞踊シリーズより

布絵とは?

絵の具や顔料の代わりに日本の古い布(着物・帯・手拭いなど)を使用して人物や情景などを表現していくもので、作家・皆川末子さん考案による手法です。パッチワークや手芸とは違うその独自の世界は、各種メディアでも取り上げられ、個展でも高い評価を得ています。

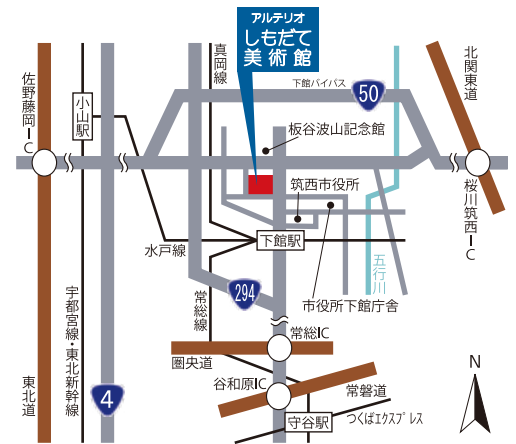
本展では、作家としての画風を極めた「メッセージシリーズ」や約6m×3mの巨大布絵など約70点の作品を展示します。

皆川 末子

みなかわ すえこ

1947年茨城県水戸市生まれ。幼少の頃より絵心を持ち、高校時代には東京へ通い、デザインの勉強をする。布で絵を描くことを発想し、日本の古布で日本画を描く独自の世界「布絵」の制作活動を始め、今や作品総数は250点を超える。国内だけでなく、オランダ・ハンガリー・チェコ・アメリカ・オーストラリアといった海外でも作品展を開催し、大きな反響を呼ぶ。「布絵」による国際交流の輪の広がりにも貢献している。

公式ホームページ <https://nunoe.com/>



作家在館日限定のお楽しみ

会場で皆川末子さんが布絵のことや作品の解説をいたします!

【在館日】10/9[土]、17[日]、31[日]、11/14[日]、28[日]、12/5[日]、19[日]

【時間】11:00～15:00 ※日時は都合により変更する場合がございます。ご了承ください。



まるで鑑賞気分。展示空間をCG動画で大公開!

展示の様子を疑似体験。会場を歩く感覚で、圧倒的スケールの布絵作品の数々をCG動画でご覧いただけます。

ご視聴方法

二次元バーコードをお手元のスマートフォンで読み込むか、
<https://nunoe.com/shimodate-museum/#CG>
にアクセスしてください。



鉄道

JR水戸線・関東鉄道常総線・真岡鉄道真岡線
「下館駅」北口から徒歩8分

自動車

東北道・佐野藤岡ICから国道50号で約60分
圏央道・常総ICから国道294号で約40分
常磐道・谷和原ICから国道294号で約60分
北関東道・桜川筑西ICから国道50号で約20分

※地下駐車場または市役所下館庁舎駐車場をご利用ください。

お問い合わせ:しもだて美術館

〒308-0031 茨城県筑西市丙372 (アルテリオ3階)
TEL: 0296-23-1601 / FAX: 0296-23-1604
Email: datebi@city.chikusei.lg.jp
<https://www.city.chikusei.lg.jp/museum/>

